

（臨床研究に関する公開情報）

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] Rapid Response System（RRS）起動患者における National Early Warning Score（NEWS）と予定外 ICU 入室の関連：単施設後向き観察研究

[研究責任者] 長崎医療センター3A 病棟 百枝 裕太郎

[研究の背景]

入院中の患者さんでは、急激に容態が悪くなる前に、呼吸や血圧、脈拍などの変化が現れることが知られています。長崎医療センターでは、このような患者さんの状態悪化を早期に発見し、迅速に対応するために、Rapid Response System（RRS：院内迅速対応システム）を運用しています。RRS では、一般病棟で状態悪化の兆候がある患者さんの元へ救急科の医師や専門的な知識・技術をもつ救急看護師などが病棟へ駆け付け、患者さんの診察や治療を行っています。また、患者さんの状態を客観的に評価する方法として、NEWS（早期警告スコア：National Early Warning Score）という指標があります。NEWS は、呼吸数、血圧、脈拍、体温、酸素の状態、意識レベルなどを点数化し、患者さんの重症度を評価する方法です。

本研究では、RRS が対応した患者さんを対象に、NEWS と集中治療室（ICU）への予定外入室との関連を調べることで、より早い段階で重症化を予測できるかを検証します。

[研究の目的]

本研究の目的は、長崎医療センターで RRS が対応した患者さんを対象に、RRS 対応時およびその前の NEWS と予定外 ICU 入室との関連を明らかにし、NEWS が重症化を予測する指標として有用であるかを検証することです。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2024 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までの間に、長崎医療センターの一般病棟で RRS（MET または CCOT）が対応した 18 歳以上の患者さん。

補足 1：MET とは病棟スタッフからの要請で救急医師、救急看護師が要請元へ出向き対応を行う救急対応チーム

補足 2：CCOT とは救急看護師が主体のチームで状態変化の懸念がある入院患者をスクリーニングし、病棟ラウンドを行うことで状態変化の早期発見を目的としたチーム

●研究期間：倫理委員会承認日から西暦 2027 年 3 月 31 日

●利用するカルテ情報

カルテ情報：

①対象患者さんの基本情報

年齢、性別、診療科、手術の有無、ICU 入室歴、退院時転帰、NEWS 算出に必要な情報（呼吸数、血圧、脈拍数、体温、酸素飽和度、酸素投与の有無、意識の状態）

②RRS に関する情報

RRS が対応した日時、RRS を要請した病棟、RRS が対応した理由、RRS で行われた処置、RRS 対応後 24 時間以内の ICU 入室の有無

●情報の管理

カルテ情報は、長崎医療センター内で集計、解析が行われ、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

この研究は、長崎医療センターのみで行われます。

[個人情報の取扱い]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対照表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対照表は、情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

ご自身の試料や情報を研究に使わないでほしいと希望されている方も、下記の連絡先までご連絡ください。なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、国立病院機構長崎医療センターにおける診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益を被ることはありません。

[問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター

3A 病棟 百枝 裕太郎

電話番号：0957-52-3121（代表）